

## 7 中間支援組織が取り組むもの

- 地域コミュニティの活性化や町民活動の支援、情報発信や交流の場と機会を創出するなど町民活動をサポートする中間支援組織として令和2年4月、「白老町町民まちづくり活動センター」が組織再編されました。
- 中間支援組織には、町民が様々な活動に参加しやすい仕組みづくりやコーディネート、様々な主体のマッチング、人材発掘や育成など多様な機能や役割が求められます。
- 白老町町民まちづくり活動センターは、地域コミュニティの持続的な公益活動を実現するため、様々な支援を通して町民力や地域力を高め、様々な担い手の協働により地域課題の解決に臨む「まちづくりの拠点」・「協働のパートナー」を目指します。

### (1) 積極的な情報収集と発信

- 地域コミュニティが、いつ、どこで、どのような活動を行っているか、また、行事や募集事項など、様々な情報の集積、積極的な情報の発信が求められています。
- 地域コミュニティに関し、様々な主体が、知りたい時に、知りたい情報に接することができる環境の整備が必要になります。
- 定期的に各町内会や町民活動団体等に関する情報の収集を行います。
- 地域コミュニティに関する情報のデータベース、各種活動、募集や助成制度に関する事項など、必要とされる情報の積極的な発信を行います。

### (2) 相談・コーディネート機能の拡充

- 地域コミュニティの活動に関する困り事や、持続可能な活動を進めるためのアドバイスなど、気軽に相談できる「拠り所」としての機能が求められています。
- 課題解決を図るため、行政や事業所企業、各種団体などの様々な主体と、ひと・もの・お金・情報などの地域資源を、有機的につなげていく必要があります。
- 北海道立市民活動促進センターや NPO 法人北海道 NPO サポートセンター等との連携を強化し、知識や情報の蓄積を図るほか、まちづくりの拠点として組織力や機能などを高めるとともに、職員の知恵や技能の向上による相談体制の強化を図ります。
- 中間支援組織として、様々な主体が協働でまちづくりを推進するための総合窓口の役割を担い、人と人、人と場所、団体同士をつなぎ、それぞれの特徴・個性を活かした活動のコーディネートを行います。

### (3) 組織力強化・ひとづくり機会の充実

- 地域コミュニティが持続可能な活動を進めていくためには、組織力や組織運営能力の強化のほか、担い手やリーダーの発掘・育成が必要になります。
- 「まちづくり」や「地域コミュニティの活動」に対し、関心があっても一歩を踏み出せない「潜在的な担い手」も存在していると推測されます。
- 地域コミュニティが各種の活動を行うに際し、必要となる基礎的な知識、組織力や組織運営能力の向上など持続的な活動を行うための技能や技術を高めることができるよう、適切な指導や研修会の開催などを行います。
- 地域コミュニティが持続的に活動を続けられるよう、担い手やリーダーの発掘・育成機会の充実に努めます。

<参考> 地域課題解決に向けた『中間支援組織と様々な主体の関連性』の概略図

